

事務事業評価シート

(H.28)No.	4040	(H.27)No.	4040
-----------	------	-----------	------

事務事業名	耐震性貯水槽設置事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防救助室	的場 孝之	

会計区分	事業コード	453701
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	耐震性貯水槽設置事業	
項 消防費	(小事業名)	
目 消防施設費	耐震性貯水槽設置事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	2	消防・救急
	小施策	1	消防体制の充実・強化
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
耐震性貯水槽の適正配置で、消防水利の多様化を推進し、震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図ります。
事業内容
耐震性貯水槽を計画的に設置します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	【緊急防災・減災事業債】 耐震性貯水槽2基設置 ・安部田地内 40㎡型 8,084,880円 ・箕曲中村地内 40㎡型 8,335,440円	—	【消防防災施設等整備費補助事業】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×2基)	—	【消防防災施設等整備費補助事業】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×2基)

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	16,420千円		14,000千円		14,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金			5,386		5,386
地方債	16,300		8,600		8,600
その他()					
一般財源	(0) 120	0	14	0	14
人工数					
職員	0.20人	0.00人	0.20人	0.00人	0.20人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,520千円	0千円	1,520千円	0千円	1,520千円
①+②総事業費	(0千円) 17,940千円	0千円	15,520千円	0千円	15,520千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消が図れた。今後の課題としては、水利不便地における耐震性貯水槽の用地確保と施工方法を検討する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震等に備え、水利不便地の解消や消火栓に偏らない水利の多様化を図るため、計画的に耐震性貯水槽の整備に取り組みます。 財政状況が厳しい中、国の補助事業等の活用など、引き続き、財源の確保に努めます。 地域と連携し、用地の確保に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図ります。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
災害に迅速・的確に対応するため、継続して耐震性貯水槽を整備していく必要があります。	